

二〇一九年五月二日(参加者一五名)

謎めきし古墳を抱く夏木立 菜々々
 碧天へ紫雲ひろげに花棟 菜々々
 昨夜雨に伏すも艶やか薔薇真紅 菜々々
 苑めぐる百種百相なる薔薇に 菜々々
 昨夜雨の雫重たし薔薇大輪 わかば
 篠懸の樹下に憩へば風涼し わかば
 苑めぐる木々の緑の深さかな わかば
 咲き満ちて且つ散り敷きぬバラアーチ わかば
 青鳶の墳に眠るは古代人 明日香
 すぐかけの新樹の森に風生る 明日香
 青虫がスーツの襟を這ひにけり 明日香
 風薫る樹下のベンチの心地よし こすもす
 蔦覆ふ古墳公園風涼し こすもす
 昨夜雨に彩洗はれし薔薇の園 こすもす
 青鳶がすつぱり覆ふ古墳かな はく子
 龍王の御堂鎮もる木下闇 はく子
 泰然とありてあふちの花空へ はく子

惜しげなく剪り捨てられし薔薇手入れ もとこ
 白日傘古墳の丘に消えにけり もとこ
 プラタナス風の生まるる聖五月 もとこ
 バラアーチ潜り戻りつたもとほり 小袖
 けもの道隠す青鳶古墳山 小袖
 石室は未調査といふ木下闇 たか子
 花あふち空に紛れし淡さかな たか子
 昨夜の雨あふちの花を散り敷きぬ 芳舟
 サラリーマン薔薇のベンチにうたた寝す 芳舟
 遠雷やこんな空の青いのに 素秀
 園丁に抱き起こさるる雨後の薔薇 葉月
 白薔薇の雨に崩れし愁ひかな よし子

定例会会みのる選

二〇一九年五月二日(参加者一五名)